

今週のモーニングセミナー報告

令和5年7月5日（水）の講話 <第947回>

テーマ：「親子の愛」

講師：（一社）倫理研究所 法人局 法人レクチャー 香川県倫理法人会 東讃地区地区長 米田均 様

（松浦清貴 会長） 今月の誕生日プレゼント。鏡原元気さん 『34歳になります。会社では35歳から人間ドックの検査があります。健康に気を付けたい』 本日は第4条・<夫婦対鏡>妻は先日のエレクトーンを弾いていたのですが、会社では保険の仕事を手伝って、子供三人を育て、送迎もしています。バレーでけがをして歩けない時、妻に代わって子供の送迎など大変でした。先日の三役の人が来られて面談しましたが「何だったのか」と問われ、来季会長をするからその聞き取りだということ、「そんなこと聞いていない」と反発されました。私は言ったつもりでしたが～

（米田 均 法人レクチャー） 『親子の愛』 最初に友人が、癌になり生前葬をされた話。東かがわ市倫理法人会に入会していましたが、ほとんど出席してなく、さぬき市の立ち上げの時、そちらに移る。安富会長から、ガソリンを入れに来るたびに「ヨネちゃん出てきてよ～」といわれ続けて、出席するようになった。自己紹介：大川町の専業農家に生まれ、学校卒業後、東京の建設会社の事務職として入社。正月に帰省すると父からお見合いを進められて、その年の4月に結婚・米田家に養子縁組。米田家は昭和35年に義父が三輪車2台で開業した運送屋です。当時は個人の仕事、後に農協との共同会社に合併、後に義父はその会社から追い出された、それでも後日、義父は、緑の営業ナンバーを取得。ガソリンスタンドと運送業の併設会社。大川町の生みの親とはいい思い出があるが、養子先の親とは壁があった。本当は自分から話したかった。会社を引き継いでから赤字経営になった。悩み、・・・すべて親の為人の為と思い。徐々に赤字脱却したのは倫理のお陰。倫理指導を受けて、親との確執、お墓参りは心がこもっていませんよ。いわれ、仏壇お参りとお墓参りをして花の水換えをしたりしていると、「あんたもやっとな親の苦労が分かってきた、あんたの父ちゃんも苦労しとるけんのう～」と話しかけられる。義父が年を寄せて足が不自由になった時、よく転んだ、その度に起しに行く。昼も夜も、夜中も。ある日水路に落ち込んでいる義父を見つけた時、そのままにしておけば・・・死ぬのではないかと・・・と考えたこともあった。義父の死後、生前座っていたその椅子には、拘りがありなかなか座れなかった。養子先の自分の心の置き所とその両親との確執を克服するまで、倫理指導にヒントを得て実践した内容を詳細にご講話いただき。倫理の教えが心の支えになったきっかけを納得するように聞かせていただきました。（赤山芳隆）

担当者：赤山 芳隆

現在マルト急配経営者、トラック15台、従業員13人で関東にも輸送している。高校卒業後、東京の会社に勤務。正月に実家へ帰ってきた時にお見合いして話がすすみ4月に結婚した。JC会員として熱心に活動、子供の顔はあんまりみてない。倫理もはいていたがスリープ会員だった。米田さんが婿養子だとは初めて知りました。養子のくせにと周りから言われてのくやしさを話しされました。自身の両親、妻への両親への感謝の言葉を話しされました。ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

出席社数 14社 14名

連絡事項

（モーニングセミナー）

日時：7月12日（水）6：00～7：00

テーマ：「私の人生～チャンスを手掴んで離さない～」

講話者：香川県東かがわ市倫理法人会 会員 淀 紀清 様

テーマ：「政治家として目指すビジョン～若者よ政治家を目指せ！～」

講話者：香川県東かがわ市倫理法人会 幹事 山口 大輔 様

会場：南新町自治会館

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp